

キー坊の環境講座

第77回 粗大ごみの捨て方は？



家庭から出る家具や電化製品などの生活用品で指定の袋に入らないものは「粗大ごみ」になります。処理には次の方法があります。

- ①直接処理場へ運ぶ（クリーンセンターは無料、不燃物埋立場は1日の搬入合計500kgまで無料）
 - ・木製、プラスチック製、金属製品（自転車含む）はクリーンセンター（半城土町東田46・☎21-5389）へ。
 - ・ガラス製品、ホーロー製品、陶器類、コンクリート製品は不燃物埋立場（泉田町南新田16・☎23-5374）へ。
 - 粗大ごみを運ぶための車両貸し出し制度もあります。詳しくは、ごみ減量推進室（☎21-1705）、環境推進課（☎95-0023）、富士松支所（☎36-1111）へ。
- ②戸別有料収集を申込む（1点につき800円）
 - ・受付専用電話（62-2000）にお申込みください（受付時間8時30分～17時・年末年始は除く）。
 - ・毎週水曜日に収集しますので、前々日（月曜日）までにお申込みください。
 - 家電リサイクル対象製品（テレビ、エアコン、冷蔵庫・冷凍庫、洗濯機・衣類乾燥機）の処分には、別途リサイクル費用などが必要になります。
 - パソコンや自動車部品など搬入・収集できないものがあります。

○詳しくは、市庁（トップページ→くらしの情報→ごみ・資源・リサイクル→ごみの分け方・出し方→粗大ごみの処理方法）をご覧ください。☎ ごみ減量推進室（☎21-1705）



もう1枚 今号の表紙

～雨なんて気にしない！～

2月8日に総合運動公園周辺で第42回かきつばたマラソン大会が開催されました。当日は残念ながら雨に降られてしまいましたが、それでも今年は各部門に子どもからお年寄りまで1,374人が参加し、元気よくそれぞれの走りを楽しみました。

競技開始前には、リニューアルされたウェーブスタジアム刈谷の電光掲示板(大型ビジョン)の点灯セレモニーも開催され、大会を盛り上げました。

編集者 雑感

3月は別れの季節。とは言うものの最近ではフェイスブックなどを活用している人も多く、私が学生だったころよりも、離れていても友達の近況を知ることができるし、連絡を取ることも簡単で、さびしさはそんなに感じなくなっているのかな…とふと思いました。ついにスマホを購入したものの、全然使いこなせず、文を打つことも遅い私は、まだまだ時代についていけないのですが…

FC刈谷の新鮮力 vol.12

先月号からスタートした2015年版「FC刈谷の新鮮力」。今シーズン加入した選手を紹介していきます。FC刈谷の新たな力にご期待ください！



宮本 ユウキ 選手(30)
背番号20 MF
名古屋市出身
たけのこ学童クラブ勤務

今季、サウルコス福井より選手兼任コーチとして加入した宮本選手。たけのこ学童クラブ(名古屋市中村区)で勤務しながらFC刈谷の選手として活動しています。

宮本選手は高校卒業後すぐにブラジルのクラブチームに入団したのをはじめ、約4年間海外でプレーしました。海外の選手は日本の選手と比べ、足元の技術や判断力などのレベルが高く、驚きを感じたそう。

石田監督とは、ウェーブスタジアム刈谷でのJFL合同セレクションで知り合ってから5年来の付き合い。お互い信頼関係が結ばれています。若い選手が多いチームの中心的存在として勝利に導くプレーを期待したいですね。

【市民の皆さんへメッセージ】

「サッカーを通して刈谷市を盛り上げていきますので、ウェーブスタジアム刈谷での試合には皆さんぜひ来てください！」

☎ FC刈谷事務局（☎62-5160）